

PRESS RELEASE

令和4年(2022年)5月12日

小白川キャンパス「新グラウンドオープニングセレモニー&イベント」開催

【本件のポイント】

- 小白川キャンパスでは、キャンパス全体がイノベーションコモンズ（共創拠点）となることを目指し、その第一歩としてグラウンドをリニューアルした。
- 新たなグラウンドは、授業や課外活動などで利用するだけでなく、各種スポーツ団体等を通して地域の皆様にも活用いただきたいと考えている。
- グラウンドの完成に伴い、オープニングセレモニーとイベントを企画している。これを機に、地域との関係性を深め、小白川キャンパスのコモンズ化を図っていききたい。



【概要】

山形大学は、将来ビジョンに掲げる「つなぐちから。山形大学」をキーワードに、大学の知とインフラを活かした地域活性化の促進を目指し、山形大学小白川キャンパスをイノベーションコモンズ（共創拠点）化するためグラウンドをリニューアルいたしました。

このことをきっかけに、小白川キャンパスでは、多様な人々が集い、安心安全な環境でのびやかに活動する「コモンズ」として、キャンパスのサービス機能を拡張し、様々なパートナーと共に地域の活性化に貢献します。

このたびの新グラウンドの完成を記念し、オープニングセレモニーを開催します。セレモニー終了後には、オープニングイベントを開催し、グラウンドでのスポーツ体験やキャンパスツアーを行います。参加費は無料です。

ふかふかの人工芝の全天候型グラウンドで軽く体を動かし、大学の施設を楽しんでみませんか。
地域の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

【実施内容】

日 時 / 令和4年5月29日(日) 10:00~(終了予定時刻 13:00)

会 場 / 山形大学小白川キャンパスグラウンド

対 象 / 地域の皆様

◆オープニングセレモニー(10時~)

1. 開式の辞
2. 学長挨拶
3. 施設概要説明
4. 来賓ご紹介
5. 来賓祝辞
6. 文科省挨拶
7. テープカット【小白川キャンパス・コモンズ宣言】
8. 祝電・祝演披露
9. 記念写真撮影
10. 閉式の辞

イベント詳細



◆オープニングイベント

(セレモニー終了後 おおよそ11時頃~)

○健康と学びの企画(自由参加・見学会)

・みんなで体を動かしてみよう!

・ブラインドサッカーを体験しよう!

○キャンパスツアー

文化ホール(音楽コンサート)、図書館、博物館等

お問い合わせ

健康と学びのサポートセンター

TEL 023-628-4917

メール yu-cwb@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

小白川キャンパス Innovation Commons Opening Ceremony & Event

参加
無料

事前申込不要
途中参加可能

大学で健康と学び

2022
5/29 sun

start 10:00
(13:00 終了予定)

場所

小白川キャンパス
グラウンド

10時~ オープニングセレモニー

11時~ オープニングイベント
・みんなで体を動かしてみよう
・ブラインドサッカー体験
・キャンパスツアー

お問合せ
山形大学
健康と学びのサポートセンター
☎ 023-628-4917
✉ yu-cwb@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

Yamagata
University
CWB
Yamagata University
Center for Wellbeing



山形大学で遊ぼう。

新グラウンドがオープンします。それに伴いオープニングセレモニーを開催いたします。オープニングセレモニー終了後には、オープニングイベントが開催され、グラウンドでのスポーツ体験やキャンパス内でのスタンプラリーが行われます。オープニングセレモニーでは、学生サークル四面楚歌による花笠踊りの披露もございますので皆様是非ご来場ください。

*当日、37.5℃以上の発熱がある方、咳、のどの痛みなどの風邪の症状や、だるさ、息苦しさ、味覚・嗅覚障害などの症状がある方はご来場をお控えください。
*会場内では、マスクの着用、入場時の検温、手指消毒にご協力いただき、他のお客様との距離を十分に保つようご協力をお願いいたします。

■事例の概要

大学の知とインフラを活かした地域活性化の促進を目指し、小白川キャンパスのスポーツインフラを最大限に活用することで、大学の教育・研究・医療等の発展とともに、地域と持続的に連携し、文化・健康・生涯学習等を促進・発展するための環境整備を行った。

■ビジョン等への位置づけ 山形大学将来ビジョンでは、「つなぐちから。山形大学」をキーワードに共育、共創、共生による持続可能な幸福社会の実現を目指しており、キャンパスを多様な人々が集い、安心安全な環境でのびやかに活動する「コモンズ」として、キャンパスのサービス機能を拡張し、様々なパートナーと共に地域の活性化に貢献することとしている。

■運営方法・体制整備等

- キャンパスをあらゆる「共創」の拠点として地域社会に貢献できる場所とするため、令和3年6月に『健康と学びのサポートセンター』を設置、キャンパス内の様々な施設を用い、大学教員の研究を地域の人々のウェルビーイング（well-being、幸福・健康）に結び付ける取り組みを行うこととしている
- 体の健康、心の健康、知の健康の部門毎に大学ならではの付加価値をつけたコンテンツを提供、屋外施設は体の健康分野で主に活用、連携することとしている
- 地域の生涯学習、スポーツ分野において相互協力を行うため、山形県サッカー協会と施設利用協定を結んだ



■共創活動・今後の展望

- 小中学校とのスポーツ教室や各種スポーツ指導者養成の拠点としての利用を求められており、グラウンドが地域の人々と連携し交流できる「共創」の場として、地域のスポーツ文化の活性化と人材育成など地域連携に貢献する
- 今後、サポートセンターから提供する屋外施設を活用するコンテンツについては、エクステンションサービス推進本部の市民等へのニーズ調査によってオーダーメイドのプログラム作成も視野に入れている（リカレント教育での展開）

■共創空間

- 老朽化したグラウンドを全天候型に整備、安全安心な施設とするともに積雪期間の利用も可能とし、外部利用の拡大を図った
- R4年度の整備ではスポーツ科学の共同研究や地域における屋外施設利用者が利用可能な拠点施設（建物）の整備を行う
- 山形県サッカー協会や山形陸上競技協会などスポーツ関連団体からニーズを調査するなど、学外利用に向けた要望の把握を行った
- グラウンド整備では、施設整備費補助金以外の財源を活用することで実施、自己財源や公益財団法人日本サッカー協会からの助成金を活用した
- 施設の維持管理は、施設利用料等を充てることとしている
- 大学の屋外体育施設の外部貸し出しを積極的に進めていくことで、大学の資産を準公共財として有効活用を図る

